



JR連合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を！！

2020 年度

No. 78

2021年2月12日

日本鉄道労働組合連合会

JR九州労組 第33回中央委員会

**立ち止まる訳にはいかない！責任組合として、
経営基盤の確立と労働条件改善に取り組む！**

純ベア 1,000 円要求！

2月9日、JR九州労組は、福岡市内において、第33回中央委員会を開催した。緊急事態宣言下にあるものの、2021春闘方針を中心とする重要な議案を決議する機関会議として、会場では感染症予防に万全を期し参集した。JR九州の責任組合として経営基盤の確立と労働条件改善に取り組み、「中期労働政策ビジョン『チャレンジ2023』」の目標達成に向け、純ベア1,000円をはじめとする要求を実現させるべく総がかりの闘いを展開する意志統一を図った。



冒頭、挨拶に立った中原委員長は、緊急政策課題の解決にむけた昨秋の署名活動や決起集会、数次の要請行動による成果と課題を述べた上で、雇用の生命線となっている雇用調整助成金の特例措置の延長や、諸税や社会保険料など公租公課の負担軽減措置の延長・拡

充を実現させ、コロナ禍からの反転攻勢を果たすべく「コロナ禍への対応という共通の課題に労使で取り組む体制を構築するため、労働組合側からの働きかけを強めたい」と述べるとともに、掲げた春闘方針に対しては、「この春闘において、闘いの先頭に立ち、しっかりと結果を出していく」と力強く決意を語った。

また、質疑では、ベアにこだわった取り組みとグループ労組への波及を求める声があった他、会社施策の課題、組織の求心力に係る課題など11名からの発言があり、執行部から丁寧な答弁があった。JR九州が将来にわたり希望の持てる企業であり続けるためにも組織の総力を結集し組合員の負託に応える運動を展開していくことを満場一致で確認し、団結がんばろうで委員会を締めくくった。